

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

4 款 衛生費

1 項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7202）

8 目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)ウォーキング立 県とっとり事業	4,068	0	4,068				4,068	
トータルコスト	5,682千円（前年度 0千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、ウォーキングポイント制度の普及							
工程表の政策目標(指標)	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減（平成20年度を基準年として、5年以内に10%減）							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「健康づくり文化創造プラン」で定めた「一日の歩数一万歩」の目標値達成に向けた環境づくりを行うため、ウォーキングの普及に力を入れる団体の取組みに補助することにより、効率的かつ効果的に「ウォーキング立県」の推進を図るとともに、ウォーキングの更なる普及のために、県民の取組みを促す仕組みをつくり、また、先進事例を視察してその方策を探る。

2 主な事業内容

(1) 「ウォーキング立県とっとり」推進事業

ア 全県的な視点でウォーキングを普及することを目標として活動している団体がウォーキング大会を開催する場合に、開催地の市町村がそれに対して補助し、又は協働してウォーキング大会を実施する場合に当該市町村に対して補助。

区 分	内 容
事業主体	ウォーキングを推進する団体
間接補助 事業主体	市町村
補助対象 経費	（市町村がウォーキングを推進する団体と協働して、）ウォーキング大会（500人規模・3箇所）を開催する場合の当該開催に要する経費
補助率	1 / 3
補助金額	550千円

イ ウォーキングを通して交流のある韓国で、ウォーキングを市民に定着させるための先進的な取組みを行っている原州市を訪問し、電子システムを活用した市民への取組奨励方法、実績等を視察する。

【所要経費】旅費 518千円

(2) 「みんなで歩こう鳥取路」事業

大韓ウォーキング連盟と協働したアピール力のあるウォーキングイベントを実施するNPO法人未来に対して補助することにより、「ウォーキング立県とっとり」を広くPRするとともに、沿線市町村・住民を巻き込むことで、ウォーキングの普及を図る。

◆ ウォーキングイベント：「韓国から、歩いて日本へ」

日韓の参加者がDBSフェリーで境港に到着後、倉吉までウォーキング。コース沿線市町村をメンバーとした実行委員会でイベントを企画するとともに、沿線住民の参加も募る。

区 分	内 容
事業主体	NPO法人未来
補助対象 経費	ウォーキングイベント「韓国から歩いて日本へ」の開催（沿線住民の参加に係る部分も含む。）に要する経費
補助率	1 / 2
補助金額	1,000千円（2,000千円×1 / 2）

(3) 19のまちを歩こう事業

県が認める県内で開催されるウォーキング大会に参加した場合に、げんきウォーキングカードを発行・配付し、参加した大会数が3つ以上となった者に抽選応募券を進呈するなどし、県産品、温泉券等の記念品を贈呈する。

(想定事業内容)

- ・「県が認めるウォーキング大会」とは、主催が市町村や民間等で、参加想定者が100人以上、距離が3km以上のものを想定。(別に定める要綱に基づき認定)
- ・大会主催者は、参加者全員に「げんきウォーキングカード」を配付する。
- ・カード所持者は、各地域の大会に参加し、完歩した場合にその大会の確認印をもらう。
- ・確認印が3つ以上となった者は、事務局に申請することにより、記念品が贈呈される。

【所要経費】

委託料 2,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度は、県民が取り組みやすい健康づくりの一環としてウォーキングを推進する姿勢を打ち出した。

平成22年度は、ウォーキングの普及に力を入れる団体と協働することにより、「ウォーキング立県とっとり」の推進を効率的かつ効果的に図るとともに、県民の取組を促す仕組みをつくり、さらに検討する。